

## 平成28年度教育計画

## 1 学校目標

## (1) 校訓

「真実」「克己」「規律」の校訓のもとに、日々の学校生活を通して、心身共に健康な人間を育成する。

## (2) 教育方針

- 真実と正義を求め、人格を尊重し合う人間として資質の伸長を図る。
- 己に打ち克ち勉勵に努め、自主・自律の精神の育成を図る。
- 社会的秩序や調和を重んじ、相互啓発・相互鍛錬に努める気風の育成を図る。
- 地域社会と関わる体験を通して、郷土愛を育む意識の高揚を図る。

## (3) 今年度経営方針

## I 基本姿勢

学校の教育活動計画全体をキャリア教育的な考え方をベースにして展開することにより、社会の一員としての自己を理解し、夢の実現に向けて挑戦する明るく活力ある生徒を育成する。

## &lt;目指す学校像&gt;

- 生徒と教職員が元気で活気あふれる学校
- 一人ひとりの生徒にとって安全・安心で信頼できる学校
- 学ぶ喜びを感じさせ、生きる力を伸ばす学校
- 入学した生徒全員が進路を決めて卒業できる学校
- 地域の人々から応援してもらえる学校

## II 重点実施事項

## 1 各教科・科目の指導について

- 全教職員が共通意識を持ち、授業の開始時・終了時の服装・礼法指導を徹底する。
- 授業力の向上を目指し、日々授業改善に努める。その際、授業は教員と生徒の共同で創り上げるという観点から、授業アンケート等も参考にする。
- 各教科科目において、キャリア教育の視点（学ぶ・生きる・働く）を意識した指導を展開する。
- 学校設定科目「五高ベーシック」や朝学習の充実を図り、分かる喜びにつなげるとともに、基礎学力を身に付けさせる。
- 課題の与え方を工夫し、家庭学習を習慣付ける。

## 2 進路指導について

- 三者面談などを通して保護者との連携を保ち、3年間の系統的な進路ガイダンスを推進し、早い段階からの進路意識の高揚を図る。
- 生徒一人ひとりの進路希望を実現させるため、個に応じたきめ細かい進路指導を行い、年度中に卒業生全員の進路先決定を目指す。
- 2学年で全員参加のインターンシップを実施し、実践的なキャリア教育を推進する。
- 自分をアピールできるものを意識して持たせる。その一つとして将来に役立つ資格取得を奨励し、積極的に支援する。
- 進学及び就職先の開拓に努める。特に国公立大と看護系の進学についての可能性を広げる。
- 進路先の追跡調査を行い、進路指導の改善につなげる。

## 3 生活指導について

- 生徒一人ひとりの行動を見守り、個人面談や日常的な声掛けを行うことにより、厳しくかつ丁寧で温かい指導を行う。
- いじめ0（ゼロ）を目指し、本校いじめ防止基本方針に則り、予防と早期発見に努める。

- 問題行動に関する事例研究等を通して全教職員の共通理解を図り、**問題行動を起こさせない予防指導**を推進する。
- **全校一斉の整容指導**を定期的・組織的に徹底し、日常的に、挨拶やマナー指導を加えて展開し、規律ある生活習慣を確立する。
- **清掃指導**を徹底し、生活環境の保全を図るとともに、清掃活動を通して社会性や公共性を育成する。
- **教育相談機能**の充実を図るとともに、生徒の変化を複数の目で捉え情報を共有する。

#### 4 特別活動・部活動等について

- 生徒会執行部を核とした、**生徒による自主的な生徒会活動**を支援する。
- 部活動を通して達成感を醸成し、相互錬磨を図るとともに、また部活動を、放課後の有意義な活動の場とするために、**部活動への全員参加**を奨励し活性化を図る。
- **地域貢献活動**等で積極的に地域に飛び出し、他に認められる喜びを経験させ、自ら社会に貢献しようとする態度を育成する。
- インクルーシブ教育を推進し、障がいに対する理解や共生意識を醸成する。

#### 5 職員研修について

- 「**教科・科目の中でのキャリア教育の進め方**」を研究し推進を図る。
- **アクティブラーニング**についての理解を深め、生徒主体の学習形態を組織的に研究する。
- **オープン授業デー**や**生徒による授業アンケート**を実施し、授業改善を図る。

#### 6 情報発信について

- 各種たより・ホームページ・フォトニュース・PTA会合等、いろいろな機会を捉えて学校の教育活動を紹介し、保護者や地域の人々から理解と協力を得られるように努める。

#### 7 教育公務員としての自覚について

- 教育公務員としての責任を自覚し、道路交通法を守り、金銭や会計処理、個人情報等の管理を厳格にして不祥事や不正を根絶し、生徒や保護者、地域からの信頼を得られるよう行動する。

#### <育てたい生徒像>

- 心身共に健康で、互いの人格を尊重し、誰とでも適切な人間関係を形成できる生徒
- 情報を収集・活用して自らの将来を設計し、その実現に向けた計画を実行できる生徒
- 自らにふさわしい進路選択・決定を行い、自ら課題を設定してその解決に取り組む生徒
- 自らを理解し、今後の成長のために望ましい方向へ進んでいける生徒